

8月31日：多くの銀行株が売られたが、VN指数は3日続伸

ベトナム市場は3日続伸となった。

ホーチミン市場のVN指数は0.25%（3.33ポイント）高の1,331.47ポイントで引けた。

騰落別では206銘柄が上昇、186銘柄が下落、40銘柄は変わらずだった。

出来高は前日に続き高水準で、売買高が7億3,380万株以上、売買代金が約22兆9,000億ドン（10億米ドル超）となった。

素材、不動産セクターを中心に主力株が買われ、VN指数の上昇を支えた。

しかし大型株で構成されるVN30指数は午後に下落に転じ、0.17%安の1,428.66ポイントで取引を終えた。同指数採用銘柄のうち、14銘柄が上昇、13銘柄が下落、3銘柄は変わらずだった。

値上がり寄与度上位5銘柄では、3.06%上昇したベトナムゴム工業グループ（GVR）が寄与度でトップとなった。

それに続き、ペトロベトナムガス（GAS）、マサングループ（MSN）、ホアファットグループ（HPG）は1.23～2.17%とそれぞれ上昇した。

ファットダット不動産開発（PDR）+2.8%、ベガメックスIDC（BCM）+5.39%、キンバックシティグループ（KBC）+6.1%といった不動産セクターの銘柄の多くは、堅調な動きとなった。

午後に利益確定売りを受けた銀行セクターは下げ幅を拡大させ、マーケット上昇の重しとなった。

結果的にヴィエティンバンク（CTG）、テクコムバンク（TCB）、ベトナム投資開発銀行（BID）、軍隊商業銀行（MBB）、HDバンク（HDB）、サコムバンク（STB）といった主要な銀行銘柄が売られた。

「VN指数は続伸したが、1,335～1,340ポイントの上値抵抗線を上抜けることができなかった。それゆえマーケットでは一進一退の動きが続く」（サイゴンハノイ証券のアナリスト）

「大型株を保有する投資家は、自律反発局面で自身の持ち株を減らすことも手だ。すでに短期的に利益を確定させた投資家は、すぐに買い入れるのを避け、タイミングを見て買うのが良い」 (同証券会社)

ハノイ市場の HNX 指数は 0.44% 高の 342.81 ポイントで引けた。

売買高は 1 億 5,159 万株で、売買代金は 3 兆 3,000 億ドンを超えた。

一方で外国人投資家は引き続きマーケット全体で 1,033 億 8,000 万ドンを売り越した。

ホーチミン市場で 1916 億 9,000 万ドンを売り越し、ハノイ市場では 883 億 1,000 万ドンを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。